

平成三十一年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

国語

受験番号	
氏名	

- 一 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 二 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 三 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 四 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 五 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 六 この問題用紙は、持ち帰ってください。

— 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(大澤真幸『憎悪と愛の哲学』による)

問一 傍線部①～⑩について、カタカナは漢字に改め、漢字は読みを平仮名で書け。

問二 A に当てはまる語として適切なものを考えて書け。

問三 二重傍線部「演繹」という語について、①読み、②意味を簡潔に書け。

問四 傍線部Ⅰ「サッカーを『改良』して」とあるが、「改良」という語に「」が付けられている理由として考えられることを書け。

問五 傍線部Ⅱ「サッカーファンは、サッカーの神様の気まぐれが現れるのを望んでいるのです」とあるが、このように言えるのはなぜか、説明せよ。

問六 傍線部Ⅲ「気まぐれは、神にとっては両刃の剣です」とあるが、ここでいう「両刃の剣」とは具体的にどのようなことか、わかりやすく示した板書例を書け。

問七 波線部「神がいないに等しいことになってしまいます」と筆者が述べる理由について説明せよ。

問八 本文を用いて「高等学校学習指導要領」(平成21年3月告示)「現代文B」における2内容

- (1) ウの事項について指導する際、具体的な言語活動としてどのようなものが考えられるか。
- 2内容(2)にある言語活動の例を踏まえて答えよ。

二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(『沙石集』による)

(注) 銀の軟挺…良質の銀を細長く打ちのばした貨幣 宗朝…末期

問一 傍線部ア、オの文中における意味を答えよ。

問二 二重傍線部①、④について、それぞれ、具体的な状況が分かるように言葉を補い、口語訳せよ。
なお、③については「是」の示す内容についても具体的に示すこと。

問三 波線部A「隠されたるにや」について、文法事項を説明する際の板書例を示せ。

問四 波線部B、Cについて、
(1) それぞれから動詞を抜き出し、その動詞の活用之行と種類、終止形を書け。
(2) それぞれの動詞の意味に注意して、口語訳せよ。

問五 二重傍線部⑤について、
(1) 口語訳せよ。
(2) このような状態になったのは、この「成敗」がどのようなものであったからか、具体的に説明せよ。

問六 古典の学習に当たり、どのような事項について指導するのが適切か。高等学校学習指導要領(平成21年3月告示)に示された「古典A」の内容を踏まえて、二つ答えよ。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部、送り仮名を省略してある。)

(『唐宋八大家読本』による)

(注) 人主之聽言…主君が(臣下の)意見を聴く 朝…朝廷 正色…厳正な態度をとる
連章列署…上奏文を並べて署名を連ねる 聖断…主君の判断 主名…自分の名前

問一 傍線部①～③の読みを、送り仮名を含め、平仮名で答えよ。(現代仮名遣いでよい。)

問二 点線部 a について、筆者はその理由を何と述べているか、本文に即して口語で説明せよ。

問三 点線部 b のための方法として、どのような内容が述べられているか。本文に即して、分かりやすく示した板書例を書け。

問四 点線部 c について、

(1) 適切な言葉を補い、口語訳せよ。

(2) 「不可」である理由について、本文の内容に即し、口語で説明せよ。

問五 空欄 に当てはまる漢字一字を書け。

問六 点線部 d について、適切な送り仮名を補い、書き下し文にせよ。

科目	国語解答用紙	二枚中の一	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

一

問一

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	

問二

--

問三

①		②	

問四

--

問五

--

問六

--

問七

--

問八

--

科目	国語解答用紙	二枚中の二	受験番号	氏名
----	--------	-------	------	----

(31年)

二

問一	ア		イ		ウ	
	エ		オ			

問二	①	
	②	
	③	
	④	

問三	
----	--

問四	(1)	B 活用形・継続…	終止形…	C 活用形・継続…	終止形…
	(2)	B		C	

問五	(1)	
	(2)	

問六	
----	--

三

問一	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	

問二	
----	--

問三	
----	--

問四	(1)	
	(2)	

問五		問六	
----	--	----	--

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	国語解答用紙	二枚中の一	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(31年)

問一	① おとし	② しいせい	③ 圧倒的	④ 頻繁	⑤ 杵
	⑥ 絞	⑦ 慎重	⑧ 担保	⑨ 厳密	⑩ 塊

【1点×10＝10点】

問二 偶発（偶然）

【2点】

問三	① えんえき	② (例) 前提された命題から、経験等に頼らず、論理の規則に従って必然的な結論を導き出すこと。
----	--------	---

【①1点 ②3点】

問四 (例) 本来、「改良」とは、悪いものを良いものに変えるという意味だが、ここでは、サッカーの番狂わせを少なくするための変更を意味しており、論理の展開上、現在のルールに不備があると仮定した場合、あるいはその立場に立った場合のみの視点で述べられているから。

【6点】

問五 (例) サッカーの大会は、野球の日本シリーズなどとは異なり、決勝戦などの大事なゲームほど一発勝負が多く、偶然で勝敗が決まりやすくなっているように見えるから。

【6点】

問六 (例) 「両刃の剣」：【意味】大きな効果をもたらす可能性を持つ反面、多大な危険性をも併せ持つこと。

神の
気まぐれ

【8点】

問七 (例) 神の決定が、神個人の自由意思によつてではなく、何か別の原理から論理必然的に導かれるということになり、神の存在意義自体が否定されることにつながってしまうから。

【8点】

問八 (例) 本文を読み、「神は気まぐれであるがゆえに超越的な存在である」という書き手の考えに対する意見文を書いたり、サッカーを例に挙げて説明する展開の仕方に対する意見文を書いたりする。

【6点】

科目	国語解答用紙	受験番号	氏名
	二枚中の一		

二

問一	ア 身分の低い(貧しい)夫婦	イ 気の毒なことだ	ウ 言い広めたところ
	エ 眼力に優れている	オ 六つとも全部	

【1点×5＝5点】

問二	① (例) 私たち夫婦は商売をして暮らしを立てているので、生活に不足することもない。
	② (例) まさに袋の中の軟艇を夫婦に分け与えようとした時
	③ (例) 国守のいるところで、餅売りの夫婦と袋の主の男のどちらが正しいか、判断してもらうことになった。
	④ (例) 七つあるような軟艇を探し出して取るのがよい。

【2点×4＝8点】

問三	<p>(例)</p> <p>隠さ 隠す 四段活用動詞「隠す」未然形</p> <p>れ た に 断定の助動詞「なり」連用形</p> <p>た る 完了の助動詞「たり」連体形</p> <p>や 係助詞「や」(あらむ)</p> <p>る 尊敬の助動詞「る」未然形</p> <p>結びの省略</p>
----	---

【3点】

問四	(1) B 質の行・類…マ行上一段活用 終止形…見る	C 滑舌の行・類…ヤ行下一段活用 終止形…見ゆ
	(2) B 見抜いたものの	C 感じられた

【(1) 1点×2＝2点 (2) 1点×2＝2点】

問五	(1) (例) 素晴らしい裁定であると、世の人々が皆、大声をあげて褒めたたたえた。
	(2) (例) 正直な者と不正直な者を見分けつつ、敢えてどちらも正しいと認めるふりをし、結果として正直者に報いるという、道理にかなった裁きであったから。

【(1) 1点 (2) 2点】

問六	(例) 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。
	(例) 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。

【2点×2＝4点】

三

問一	① いにしえより	② のみ	③ しようして(しかして)	④ こもこも
	⑤ およそ	⑥ にくむ	⑦ けだし	⑧ ひそかに

【1点×8＝8点】

問二	(例) 忠臣と邪臣とが並んで前に進み出て、正しい意見と私利私欲の意見とを、交互に耳に入れるから。
----	--

【2点】

問三	(例) 【忠臣の言と邪臣の言の聞き分け方】												
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>話し方</th> <th>聴く側への配慮</th> <th>聴いたときの第一印象</th> </tr> <tr> <td>忠臣の言</td> <td>拙くて率直</td> <td>耳ざわりな言葉で相手の意を汲まない</td> <td>嫌な感じがする</td> </tr> <tr> <td>邪臣の言</td> <td>遠回しに順々と</td> <td>相手の気に入るように迎合する</td> <td>喜ばしく感じる</td> </tr> </table>	項目	話し方	聴く側への配慮	聴いたときの第一印象	忠臣の言	拙くて率直	耳ざわりな言葉で相手の意を汲まない	嫌な感じがする	邪臣の言	遠回しに順々と	相手の気に入るように迎合する	喜ばしく感じる
項目	話し方	聴く側への配慮	聴いたときの第一印象										
忠臣の言	拙くて率直	耳ざわりな言葉で相手の意を汲まない	嫌な感じがする										
邪臣の言	遠回しに順々と	相手の気に入るように迎合する	喜ばしく感じる										

【5点】

問四	(1) (例) 私的な操作をしようとしても、それまで積み重ねてきた成り行きとして不可能である。
	(2) (例) 厳正な職務の遂行の中で、それぞれが自分の名前を表明して共に議論を重ね、公表された後は、世間の目が注視することになるから。

【(1) 2点、(2) 2点】

問五	私	問六	能く此の術を以て臣下の情を知れば、則ち言を聴くこと易きなり。
----	---	----	--------------------------------

【2点】

【2点】